

くつろぎタイム

息子と遊んだり、キッチンで料理をするのが、いい気分転換になっています。

株式会社ごんきや
代表取締役社長
仙台商工会議所 1号議員

さとう ともき
佐藤 知樹 氏

1975年4月29日生まれ
仙台市出身
血液型B型



東北学院高等学校を卒業後、東海大学文学部日本文学科に進学。2000年4月(株)ごんきやに入社。専務取締役を経て2015年7月代表取締役社長に就任。塩釜青年会議所のメンバーとして、2009年に理事長を務め、2011年度日本青年会議所宮城ブロック会長、2014年度日本青年会議所顧問などを歴任。全国を駆け回る日々を送ってきた佐藤さんの座右の銘は「魂焦がして」。「私がつくった言葉で、『がんばる』の最上級のようなものです。やると決めたことは、どんなことでも一切妥協しない、最後の最後まで諦めない。それを信条にしています」と話す。

会社が年中無休で営業されているので、なかなかお休みが取りづらいのはないでしょうか。

そうですね。ですから、趣味といえるものがないままに、今日まで来てしまいました。ただ、本当にたまにですが、時間があるときに料理をするのがいい気分転換になっています。本音を言えば、毎日でもつくりたいくらい好きなんです(笑)。

つくるものは冷蔵庫にある材料を見て決めるので、気負ったものはありません。ただし、料理をつくるときは完全にキッチンで占拠させてもらいます。思う存分、集中するんです。ジャンルにとらわれず、何でもつくりますが、和食が多いですね。特にお酒(日本酒)に合うもの、

そして煮物系が得意です。
何がきっかけで、料理に興味をもったのですか。

食べることが好きということもありますが、健康のことも考えると、こんな食材を使って、こんな料理が食べたいという自分なりのこだわりが出てまいりまして、それだったら自分でつくってしまおうのが一番早いということでもやり始めたのがきっかけです。健康志向については妻の影響も大きいかもしれませんね。それと、子どもがまだ小さいので、「うま味」というものを教えて、できるだけ味覚を育てられるような料理を食べさせたいという思いもありました。例えば、うちのお味噌汁をよそのお宅の方が食べたなら、きつと「これ、味噌入れたの?」と言われると思います。それくらい薄味なんです。が、だしをしっかりと取っているのが、おいしいんですよ。普段は、どうしても外食が多いので、家で食べるものに関しては、徹底的にナチュラルでいこうと思っています。そういう訳で、うちには電子レンジも無いんです。

子育てがご趣味と伺いましたが。

30代半ばで授かった子どもなので、目に入れても痛くないほどかわいがっています。皇太子さまと同じお

誕生日なので、世間の皆さまが「殿下」と呼んでくださるんです(笑)。大変不敬で申し訳ないのですが、余談ではありますがありますが、私の誕生日は「昭和の日」でして、ある意味、珍しい親子ではないでしょうか。

お子さんと一緒に遊ぶのが、一番のリフレッシュタイムの醍醐味ですね。

ちょうど生気な盛りですが、息子といるときがやはり一番です。先週、息子が通う幼稚園で運動会があり、そこで行われた競技にフル参加してまいりました。私が小さかったころは、そういった行事に父が来てくれたという記憶は全くないので、もっとも、当時の葬儀社はいまよりも忙しかったですから、仕方ないと思います。それが寂しいと思う時期もあったのです。ですから、私は何とかして出てあげようと思っています。

ある程度、年齢を重ねてから父親になったので、そう思えたのかもかもしれませんし、それができる環境になってきたということもあると思います。と申しますのも、昨年まで塩釜青年会議所(以下、JC)に所属しており、とにかく徹底的に活動させていただけました。ちょうど震災の年に宮城ブロックの会長を仰せつかり、その後には日本JCに出向して役員をしていました。ほとんど東京にいなければなりませんので、いま、ど

んな時間が楽しいかと聞かれれば、家で息子と遊んだり、妻がつくってくれたご飯を食べて、晩酌をしたりしているのが一番ですね。JCでは約14年間活動しまして、おかげさまで全国に友人ができました。それだけは自慢できます。出張の際、たまに家族を連れて行くこともあるのですが、その地元にいる友人に連絡をしておくのと、のぼりをもって駅で迎えてくれる人もいるんですよ。「ウエルカム佐藤様」なんて書いてあって(笑)。「恥ずかしいからやめてくれ」と言いながらも、やはりうれしいものですね。これからは、JCで勉強してきたことを仕事はもちろん、いろいろな場面で生かしていきたいと思っています。

昨年7月に社長に就任されましたが、今後の抱負をお聞かせください。

昨年は創業200周年という記念の年で、式典を行い、3世代そろって皆さんにごあいさつすることができました。私は幼い頃から父と祖父の背中を見て育ちました。6代目の祖父が「葬儀屋」から葬儀「社」にしなければいけない。家業を企業にしなければならぬ」と基礎を築き、7代目の父が現在のように事業を広げましたので、次は私の番です。私の目指すゴールは、9代目予定者である息子をどう育て、彼に事業をど

株式会社ごんきや 創業200周年を祝う会



昨年11月、創業200周年を祝う会で、先代であるお父様とご長男とともに記念の一枚

やさしい気持で暮らせるように……。

たくさんの人が集まり、働き、笑い、泣き、そして暮らしてゆく空間、『街』…。そこで人々が明るく、健康に、そして何よりやさしい気持で暮らせるように、快適な都市環境をつくって行かなくては…。私たちはそう考えています。私たちは青葉環境保全です。

より良い環境をめざす
AOBA 青葉環境保全
本社/仙台市若林区蒲町19-1 電話(022)286-3161(代)

街